

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始させていただく事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬 白

2015年3月

【記】

◇新規検査項目

項目コード:5166

total P1NP(1型プロコラーゲン-N-プロペプチド)

受託開始日:2015年4月1日(水)受付分より

P1NPは、骨粗鬆症治療薬を用いて治療される場合の、治療効果及び治療経過を観察(モニタリング)する為のマーカーとして有用とされております。

また、骨形成促進薬を用いて治療を始めた際に、他の骨形成マーカーであるBAP等と比べ、早い段階で測定値が大きく上昇し、早期の骨形成を敏感に反映するという特徴があり、特に骨形成促進薬にあたる副甲状腺ホルモン薬(テリパラチド)の治療効果判定やモニタリングに適したマーカーとされております。

既存のIntact P1NPは三量体のみを検出するに対し、totalP1NPは三量体だけでなく、単量体も検出しますが、血中での単量体は極めて少ない為、既存のIntactP1NPとの相関は良好であります。

尚、当該検査の受託開始に伴い、IntactP1NP(項目コード:5831)は2015年4月30日(木)受付分をもって受託中止とさせていただきます。

2015年5月1日(金)受付分以降に、IntactP1NPのご依頼があった際は、totalP1NPへの受付に切り替えさせていただきます。

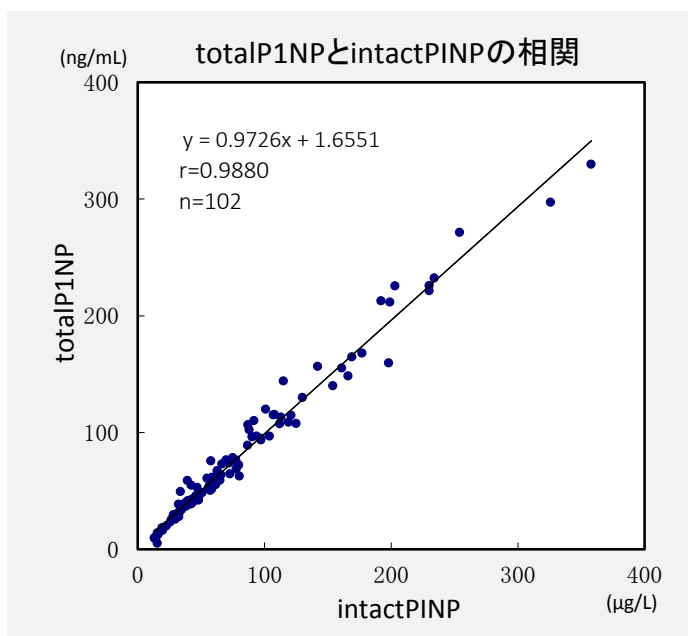
※ 検査要項等の詳細は裏面をご参照下さい

検査要項

検査項目名	totalP1NP
項目コード	5166
材料	血清0.3mℓ
保管方法	冷蔵
容器	㊦ 分離剤入容器
所要日数	3日～6日
検査方法	ECLIA法
基準範囲	下記参照
単位	ng/mℓ
報告桁数	小数第1位
報告下限値	5.0未満
報告上限値	なし ^{※1}
検査実施料	170点 ^{※2}
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ))
備考	<p>※1 透析患者をはじめ、腎不全患者から採取された検体では、希釈再検の際に、直線性が得られない場合があります。その場合は、「1,200ng/mℓ超」でご報告させていただきます。</p> <p>※2 骨型アルカリホスファターゼ(BAP)、IntactPINP、ALPアイソザイム(PAG電気泳動法)及びtotalP1NPのうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。</p>

基準範囲

男性	(30歳～83歳) : 18.1～74.1
女性 閉経前(30歳～44歳)	: 16.8～70.1
閉経後(45歳～79歳)	: 26.4～98.2



(社内検討データ)

参考文献

日高好博: 医学と薬学, 70(2), 357～365, 2013.